★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

小松ＳＳＨだより

第1号　H18.5.10
編集:SSH推進委員会
発行責任者:栖川成人

石川県立小松高等学校

★★★★★★　科学的探究力、人間力、自己表現力、国際感覚の育成をめざす　★★★★★★

世界に翔ばたく科学系人材を育成しよう!!

ＳＳＨの研究開発課題

国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を目指し、探究能力、人間力、自己表現力、国際性の育成をめざす。また、活動の中で小・中・大学・企業との連携の在り方を追求する。

研究の概要

① 数学、理科４分野で実験・実習の体験活動を数多く取り入れた系統的な学習を行うことで生徒の探究能力を高める。
② 地域の小・中学校で「高校生による科学教室」を開催し、科学好きな児童、生徒を増やすとともに、高校生が指導にあたることで人間力の育成を図る。また、大学・企業と連携し、最先端の科学技術に触れさせ、生徒の視野を広げ、研究の手法を身に付けさせることで、探究能力の伸長を図る。
③ 国際社会で活躍できる語学力を身に付けるため、海外の高校との交流を促進し、英語運用能力を高める指導法の研究。

《学校設定科目による取り組み》

◆スーパーときめきサイエンス

理科４分野の体験的な学習を行う
外部講師による実験の指導で先端の科学に触れる
・金大理学部助手　長谷部徳子氏　「放射線による年代測定」
・雪の科学館館長　神田健三氏　「ダイヤモンドダスト」
外部講師による講義
・金大薬学部助教授　加藤将夫氏　「からだの中の薬の働き」
・金沢工業大学教授　饗庭貢氏　「雷の発生と電気エネルギー」
・北陸先端科学技術大学院大学教授　三宅幹夫氏　「ナノテクによる赤色の体現」

◆数学スーパーゼミⅠ

少人数によるゼミ形式で、作業や体験を多くしながら学習を進めていく
失敗や試行錯誤をしながら「数学する」ことを実感していく
外部講師による講義
・石川工業高等専門学校教授　阿蘇和寿氏　「グラフ電卓の利用」
・小松工業高等学校教諭　根石修氏　「三角測量（ＧＰＳ）」

◆ＥＣＩ

将来、世界で活躍できる科学者・技術者になるための科学英語の基礎を学習する

《体験的活動》

◆関西サイエンスツアー

具体的なもの作りの現場を見たり、先端的な科学に触れたり、また、現場を担っている技術者や研究者と接することで、もの作りの面白さを発見し、科学に対する興味・関心を喚起させ、学ぶ意欲を育てる

【日　程】

第一日	午前	小松出発
	午後	京都大学見学 工学部エネルギー科学研究科　岩瀬正則研究室を訪問して「鉄について」の講義を受ける（約２．５時間）
	宿泊	神戸付近　未定
第二日	午前	(株)神戸製鋼所　加古川製鉄所見学 現場の科学者との懇談会　（約３時間）
	午後	(株)武田薬品工業　大阪工場見学　（約２時間） 現場の技術者との懇談会
	宿泊	「卒業生との懇談会」
第三日	午前	生命誌研究館見学　（約２．５時間） 「生命科学に関する講義」を受ける
	午後	京都発　→　小松着

◆野外実習（7/31~8/2）

今まで地学選択者は地学巡検、生物選択者はウニの発生実験を行っていたが、ＳＳＨに指定されて、全員が地学分野、生物分野を学ぶことで、クラス全員が参加する野外実習となった
能登少年自然の家を宿舎とする２泊３日の研修である

〈ウニの発生実験〉

《講演会》(10/6)

本川達雄教授（東京工業大学　生命理工学部）
ベストセラー「ゾウの時間　ネズミの時間」（中公新書）の著者

《科学系部活動の科学コンクール等への積極的な応募》

化学グランプリ、数学オリンピック、物理オリンピック出場に向けて積極的に取り組み、科学的思考力の伸長を図る。

お知らせ

SSH担当の事務の人決定！
『金子里美』です
よろしくお願いします